



明中通信

No.9

発行 校長 中尾安伸

<学校教育目標> ひと・もの・ことと豊かに関わりながら たくましく生きる生徒の育成

学校ホームページ <http://www.fujisawa-kng.ed.jp/jmeij/>

<保護者の皆様へ>

本年も、本校の教育活動へのご理解とご協力のほどよろしく
お願いいたします。

さて、コロナ禍は第6波となりました。凄いスピードで感染
拡大をしていますが、学校はこれまで通り、各ご家庭と連携を
とりながら学校運営を継続していきます。

「換気」「マスク」「手洗い・うがい」「健康調査」「黙食」等、
できる限りの感染対策を施すことと、状況によっては教育委員
会と連絡を密にとり、臨機応変な対応をして参ります。

ご家庭でも、体調の変化等にご留意いただきながら、ご不安
な点などがありましたら、ご連絡をいただけますようお願いいたします。

中尾 安伸



<伝えたいこと① 「校章」と「柏の木と葉」(粘り強さと明中愛)>

雪の中の様子



写真は正門入ってすぐ右側に植えられている柏の木です。左は雪の日に撮
りました。右下は大きな葉が枯れていますが枝から落ちていません。新芽が
出るまで(次の代が育つまで)ずっと待って(我慢して)います。その特性か
ら「代が途切れない」「長くずっとつづくこと」「粘り強い」など縁起物とさ
れ、塩漬けにして柏餅を包むのに用いられました。粘るのも大きい葉だけ
にたいへんです。柏の葉には、大きさの他に、芳香があったり、縁に沿って丸
く大きな鋸歯のようになっていたりするのが特徴です。ドングリは丸く、殻
斗(かくと)は先がとがって反り返る包が密生しています。

また、柏の木の名前の由来は炊(かし)ぐ葉の意味で、大型の葉が食物を蒸
すときに使われたことによるそうです。

柏の木の花言葉：勇敢 歓待 独立 愛は永遠に
愛想のよさ 自由



新芽を待つ「粘り強い」柏の葉

本校の校章は上介のタイトルのところにありま
す。柏の葉がなんと3枚重なっています。

きっと、明治中学校の生徒が「粘り強く物事
に取り組めるようになってほしい」という願いが込
められているんですね。

もう一つ明中愛の「愛は永遠に」も3倍かな。



<3年の合唱コンクール (2021年12月23日) (3年生に感謝を伝えたい)>



左の写真は3年生の合唱リハーサルの時に撮影したもので
す。自分たちが次に歌う順番待ちの瞬間です。髪を結う生徒が
何人も見えるでしょうか。髪を結び終えようとしている生徒、
髪を束ねようとしている生徒、髪に手をやり結びはじめよう
としている生徒。ほぼ同じタイミングで気合いを入れている様子
に、姿に、三年生の意気込みを感じました。明中最後の三大行
事にかかる想いがこのリハーサルから感じられ、心打たれる瞬
間でした。とても感慨深いシーンです。他にも真剣に取り組む
姿を随所で見ることができ、素敵にいい行事になりました。

「いい行事」って何だろうと考えました。3年生の姿を見ていて 私はひとつ見つけました。

「みんなが真剣に取り組んでいる姿をお互いに認めることができたかどうか。」

「お互いが真剣である。そんな仲間達といる。」ということが分ち合える。その安心感を互いが感じられる行事が「いい行事」の定義だと再発見することができました。

12/24の全校集会でお話ししたことです

人は「期待」を持ちます。期待通りならば **満足** します。
期待を越えようと **感動** します。
さらに越えようと **感激** します。
またさらに越えようと **感謝** となります。

3年生のみなさん。余儀ない変更、様々な制限、パートのバランスなど、多くのことを乗り越えての 行事成功です。「感謝」します。3年生のみなさん「いい行事をありがとう。」



3年5組 「群青」



3年1組 金賞「遙か」



3年2組 銀賞「糸」



3年3組 銅賞「手紙」
～拝啓 15の君へ～



3年4組 「あなたへ」
～旅立ちによせるメッセージ～



3年6組 「証(あかし)」



現3年生は、2年生のときの合唱コンクールが無観客開催でした。また、10月に予定していた市民会館で行えず、今回体育館で一家族一名という制限つきでの開催でした。それでも今回多くの保護者の方が起こしくださり行事を盛り立てていただきました。ありがとうございました。

<伝えたいこと② 「ハチドリのしずく」に学ぶ>



1/7の全校集会でお話ししたハチドリには様々な種類がいます。どれも、世界最小のグループに属します。

しかし、小さくても時速 100 キロ近いスピードで飛ぶことができる鳥なんです。

次の話は南米のアンデス地方に伝わる短いお話です。

<伝えたいこと② (「私は、私にできることをしているだけ」)>

ハチドリのひとつ

森が燃えていました。

森の生き物たちは われさきにと 逃げていきました。

でもクリキンディという名のハチドリだけは行ったり来たり

口ばしで 水のしずくを一滴ずつ運んでは 火の上に落としていきます。

動物たちはそれを見て「そんなことをしていったい何になるんだ」と笑います。

クリキンディは、こう答えました。

「私は、私にできることをしているだけ」

現実的に考えたら、「ありえない」の一言で話が終わってしまいます。また、クリキンディのように「生産性がないことを一生懸命にやる人っているよね。」とか「意味がわからないよね。」と考える人もいるかもしれません。これらの考え方も否定はしません。

でも、受け継がれる話には「正しく、共感される教えや理由」があると考えています。

この話には正しく、共感される教えや理由が複数込められていると私は思います。

では、この話が伝えようとしていることは何でしょうか？

1つ目は、他を非難したり、怒りや妬み、労を惜しんでいても、ものごとは変わらない。「自分の出来ることを淡々とやること、自分が変わること」でしか前に進めないということです。

不平や不満を言ってもは何も生まないということ。建設的に挑戦し続けること が大切。

2つ目は、他の動物たちが逃げる中、火に立ち向かうハチドリの強い気持ち。困難な中でも、できることをさがすことの粘り強さ。

簡単に解決できないことにも目を背けない強い心を持つこと が大切。

ひとつは「微力」ではあるかもしれませんが、「無力」ではありません。積み重ねられたら「ひとつの力」になるのではないのでしょうか。

また、その力は、周りにいる人へ 「やる気」や「勇気」を与えることがあります。

では、この話の他の動物たちは臆病者でしょうか？

動物たちが火事を消そうともせずに逃げ出してしまった本当の理由はわかりませんか？

大きな体で力持ちのクマは幼い子グマを守るために避難したのかもしれませんが。足の速いジャガーは後ろ足を使って火に砂をかけることに気づかなかっただけかもしれません。雨を呼ぶことの出来る”雨ふり鳥”は自分たちの降らせる雨が火を消せることを知らなかったのかもしれませんが。そもそも、**逃げることは「自分の身を自分で守る正しい行為」**だとも言えます。



クリキンディが、もし逃げていいる動物を非難する気持ちを持っているとすれば、**「自分だけ立派なことをしているというエゴ(利己主義 言い過ぎ?)に陥ってしまっている」**ように思います。

私たちはあまりに大きな問題や困難に対して、見えない力に取りつかれてしまったり、考えるだけで気が遠くなってしまいあきらめや無力感に心を支配されたりすることがあります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



それでも、どんな困難な中においても私たち一人一人には「出来ることが必ずあるんだよ」という教えとして、この話は受け継がれているのではないのでしょうか。

唐突ですが「燃えていた森」を「早急に改善すべき世界の課題」へと置き換えてみます。私が考える受け継がれる理由の3つ目です。

感染、戦争、飢餓、貧困、差別そして環境破壊・・・この世の中にはたくさんの課題があります。今は、コロナの感染やSDGsの問題です。

私たちの多くの人たちはちいさなハチドリと同じように微力です。クリキンディは違いますが「自分に問題を解決する力なんて無い」とか「そんな事をして何が変わるんだろう」と『他人事』『他人任せ』にしてしまっている。または、気づいていても蓋をしまっている。

揺れますよね。それでもしっかりと目を開き問題と向き合い『自分事』にする。「わたしができること」について考え、行動し、それらを積み重ねてゆくことができるとしたら、燃えている森の火を「弱める力」だったり、「今後出さない力」になったりするかもしれない・・・と。

私自身日々追われています。例えば、私が一日にプラゴミをどのくらい出しているのかさえ、正直分からないです。そんな私が世界の問題SDGsを語る資格などないとも思います。

しかし、私を含めた多くの人がこれらの共通課題に対して、微力(責任)を果たさないということは大切な「ひと」、「もの」、「こと」から目をつぶっていることになりま。できることを知りたくありませんか。みんなのできることを考えていきたいと思いませんか。

【学校教育目標】

ひと・もの・ことと豊かに関わりながら たくましく生きる生徒の育成

今世界は気づき、動きはじめている人が増えてきていると思いませんか。クリキンディが世界中に増えている気がします。



<3年生面接練習(立派な取り組み) 1/13 午後 >

3年生だけが残り、先生方全員が面接官役となって、多くの教室を使い面接練習を行いました。部屋の出入り・椅子の座り方・お辞儀の仕方等の所作をはじめ、本番と同じ質問 ①志望理由 ②中学校の学習面で頑張ったこと ③中学校の学習面以外で頑張ったこと ④自分の長所 等 が尋ねられ回答する練習です。

本番と同じように取り組めていて、とても良い雰囲気の中で面接練習ができました。3年生の皆さん、今回得た課題は当日までに修正しておきましょう。

<伝えたいこと③ 進路面接について(1, 2年生にも伝えたいこと) >

3年生が頑張っている面接は多くの方が進学時、就職時に経験します。

私は、よく面接練習の終わりに、面接官は「自分の良さを見ようとしてくれているんだと思うことが大切だよ」と伝えます。

「①自分をよく見せようとする」と「②相手は自分の良いところを見ようとしてくれていること」の違いです。①は「自分の気持ち」であり、②は「相手の気持ち」です。①と②を比較すると①は自分のことですからどうにかできそうな気がします。それでも②の「相手の気持ち」が気になって、自分以上のものを出そうとしたり、相手に悪い印象を与えたくなくなったりすることで①の気持ちを制御できないことがあります。しかし考えてください。特に高校受験では相手の方は高校の先生です。良いところを見たいと思っているはずですよ。もし、失敗したと思ったら「すみません。」と言えたら良さとして伝わるかも。自分の良さがいくつ出せるかな。

自信のあるところは? ハキハキしていること 志望理由がしっかりしていること 緊張しても一生懸命なこと 真面目なこと 面接準備をしっかりとしたこと 礼儀正しいこと・・・など。

